

問 小房、土橋町、葛本町の各交差点が渋滞していると思うが、渋滞緩和の対応策は。

答 京奈和自動車道、幹線道路のネットワークの早期整備が不可欠であるが、相当な時間がかかるため、右折レーンの延長などの速攻対策や、利用者に協力を求めるソフト対策などを重点的に実施している。

問 環状交差点が渋滞緩和や事故防止に役立つのではと期待されているが、どのように認識しているか。

答 信号機が不要。速度が必然的に遅くなる。交通量が一定であれば、待ち時間が少なくなり、CO₂排出量も減少する。信号機と違い、災害時等の停電の影響を受けない。車両のスピードが落ちるので、重大事故を抑止できるなどの効果があるかと思う。

問 本市での環状交差点の実現性は。

答 環状交差点整備には、交差する各々の道路の性格、地理的条件も異なるが、幹線道路の場合では、10メートル以上の長さのバスやセミトレーラーがスムーズに回転できて、なおかつ事故防止のために、

中央部に交通島が必要となり、かなり大きな敷地が必要となる。道路管理者、警察等の関係機関との協議も必要となるため、実現可能かどうかは答えられない。

問 医大周辺道路や香久山地域など、信号のない地域に設置すれば用地買収もそれほど手間取らないと思うがどうか。

答 周辺の交通状況などを十分加味して検討したい。

問 市長の考え方は。



菖蒲町交差点

答 本市の菖蒲町にもそれらしきものがあるが、団地をつくる際に新しい取り組みとして始めたものである。県内には9箇所存在するが、ほとんどが団地の中という限定された場所のものであり、例えば

今渋滞している大きな交差点でこれをつくるとなれば、画期的なことである。様々な選択肢の中の1つとして、専門家を入れて検討したい。

市の規模と市内イベント数の限界

問 本市には多くのイベントがあるが、本市の規模に対してこの数はもう限界に達しているのではないか。

答 今年度よりイベントから宣伝広報中心の観光施策に軸足を移している。年間を通じてイベントに頼らない観光客誘致の仕組みも必要であり、今後イベントの実施に関しては十分検討したい。市の規模に合った適切なイベント数については、答えるのは難しい。

問 様々なイベントがあるが、同じ人ばかりが手伝っており、まったく参加していない人もいるのでは。

答 手伝っていただいている方、また参加者等々に関して重複しているイベントもある。

問 イベントの取捨選択についての考えは。

答 全国レベルの趣味雑誌への特集記事の掲載、首都圏主

要駅での大ポスターの広告掲示、東京でのシンポジウム等を実施しており、イベント広報ではなく、本市へいかに来ていただくかという広報活動を中心に行っている。

公営住宅政策

問 檀原市市営住宅条例第2条に、市営住宅の定義として、『市が建設、買取り又は借上げを行い、低額所得者に賃貸し、又は転貸するための住宅』と記されている。公営住宅法第1条も同じである。本市において、市が民間賃貸物件を借り、それを低額所得者に転貸することは可能か。

答 地方公共団体が民間の事業者の物件をある一定期間借り上げて公営住宅として低額所得者に供給し、それに対し、国は地方公共団体に整備費用の一部、または家賃低廉化に対する助成を行う制度である。しかし、賃貸住宅所有者に制度を理解してもらい、賃貸借に関する相応の時間を要する交渉が必要である。公営住宅との整合性など、不確定要素

が多いことや、物件情報の効率的な収集や管理上の役割分担や業務委託範囲等のルール整備が必要になるため、既存住宅の個別改善、維持保全を主に課題に対応していきたい。

問 貸し主への説明等が大変とのことだが、生活保護を受け、住宅補助によって民間住宅を借りる場合と、市が大家から借り上げて低額所得者に貸す場合との違いはあるのか。

答 大家の意見を直接聞いたことはないが、余り違いはないという気がする。

問 耐震化工事や改修工事、バリアフリー化、省エネルギー改修、窓の断熱改修などを国の補助でできる制度もある。それを利用すればどうか。

答 確かにそういう制度もあるが、やはり仕組みづくりが大事かと思う。公営住宅の管理面などをどのような形にしていくかを踏まえ、大家に理解していただくことに相当時間を要すると考えている。

問 平成23年度実績では、市営住宅632戸の中で146戸空きがある。民間の賃貸住宅を1戸家賃4万円で借りていけば、月584万円。年間になると7千万円の損失が発